

第6次総合振興計画策定にかかる
住民意識調査

報告書

長野県 豊丘村

令和4年3月

(表紙裏 白紙)

目 次

I	調査概要	1
1	調査の目的と実施概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 実施概要	1
2	集計結果を読む際の留意事項	1
II	調査結果	3
1	あなたご自身のことについて	3
	(1) 性別	3
	(2) 年齢	3
	(3) 居住地	4
	(4) 職業	4
	(5) 家族構成	5
2	村への定住意向などについて	6
	(1) 村の住みやすさについて	6
	(2) 村への愛着や誇りについて	6
	(3) 定住意向について	7
	(4) 村に住み続けたい主な理由について	7
	(5) 村から離れたたい主な理由について	8
3	村の現状と今後の取り組みについて	9
	(1) 満足度・重要度について	9
	(2) 村の現在と将来のイメージについて	17
	(3) コロナ禍前後の生活状況等について	19
	(4) コロナ禍において重要だと思う支援について	20
	(5) コロナ臨時交付金事業の効果について	21
	(6) 人口減少や少子高齢化による村の将来への影響について	22
	(7) 今後、力を入れるべき取り組みについて	23
4	「SDGs（持続可能な開発目標）」について	24
	(1) 「SDGs（持続可能な開発目標）」の認知度について	24

(2)	「SDGs」の17の目標のうち、関心のあるものについて	25
(3)	今後のむらづくりに「SDGs」の考え方を活かすべきかについて	26
(4)	「SDGs」の考え方を村の施策にどう反映させるかについて	26
5	リニア開業について	27
(1)	リニア開業に備え、新たな村づくりに取り組む必要性について	27
(2)	リニア開業に備えた新たな村づくりに必要な取組について	28
(3)	リニア開業後、村民の暮らしが今よりよくなるかについて	29
(4)	リニア開業後、飯田下伊那地域の経済が今よりよくなるかについて	29

I 調査概要

I 調査概要

1 調査の目的と実施概要

(1) 調査の目的

本調査は、令和5(2023)年度を初年度とする「第6次総合振興計画」の策定にあたり、村民の皆様のご意見を今後のむらづくりに活用するための基礎資料とするために実施しました。

(2) 実施概要

- 調査対象:住民基本台帳から18歳以上の方2,000人を無作為抽出
- 調査期間:令和4年2月10日~2月25日
- 調査方法:郵送配付・回収
- 配付・回収:

配付数	回収数	回収率
2,000票	815票	40.8%

2 集計結果を読む際の留意事項

この調査の集計結果を読む際の留意事項は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数(該当質問においては該当者数)を100.0%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。そのため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問では、すべての比率の合計が100.0%を超えることがあります。
- 設問のなかには前問に回答した人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表しています。
- 母数が100未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性が高いため数値の取り扱いには特に注意が必要となります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中で省略した表現を用いる場合があります。

Ⅱ 調査結果

Ⅱ 調査結果

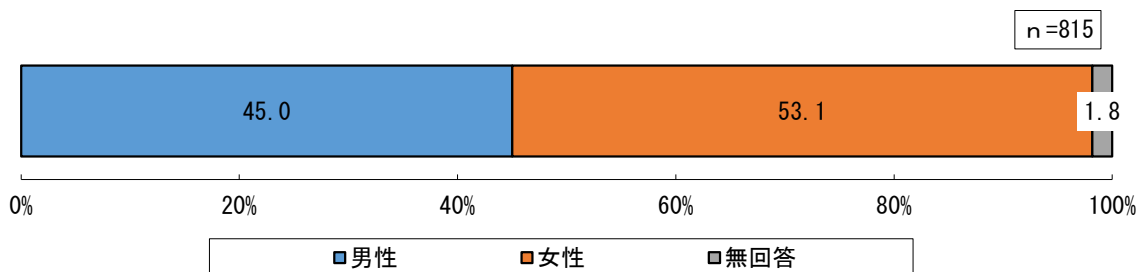
1 あなたご自身のことについて

(1) 性別

問1(1) あなたの性別についてあてはまるものをお選びください。(1つに○)

○ 回答者の性別は、「男性」が45.0%、「女性」が53.1%となっています。

図表 性別



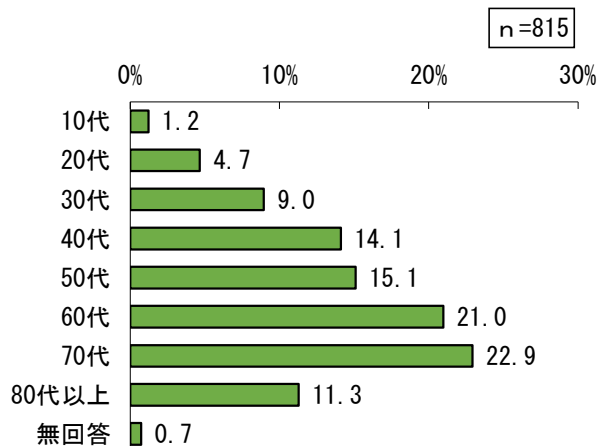
(2) 年齢

問1(2) あなたの年齢についてあてはまるものをお選びください。(1つに○)

○ 回答者の年齢は、「70代」が22.9%と最も多く、「60代」が21.0%、「50代」が15.1%と続きます。

○ 回答全体としては、60代以上の占める割合が55.2%となっています。

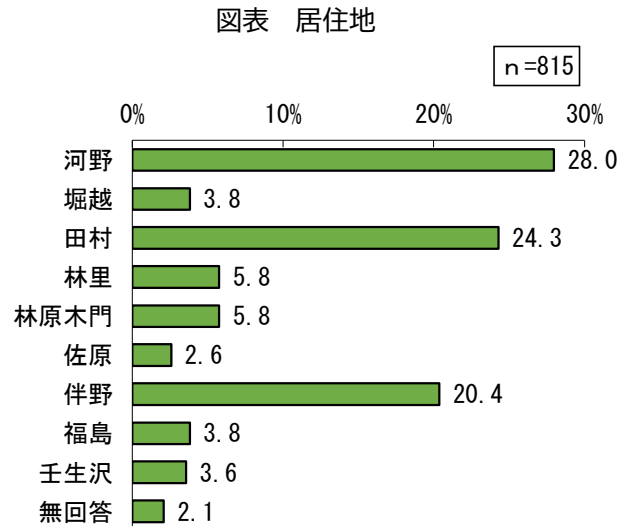
図表 年齢



(3) 居住地

問1(3) あなたの居住地についてあてはまるものをお選びください。(1つに○)

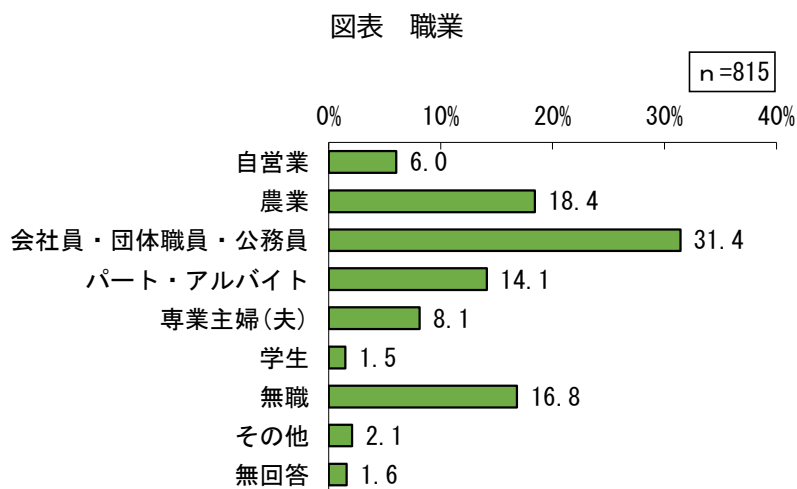
- 回答者の居住地は、「河野」が 28.0%と最も多く、「田村」が 24.3%、「伴野」が 20.4%と続きます。



(4) 職業

問1(4) あなたの職業についてあてはまるものをお選びください。(1つに○)

- 回答者の職業は、「会社員・団体職員・公務員」が 31.4%と最も多く、「農業」が 18.4%、「無職」が 16.8%と続きます。

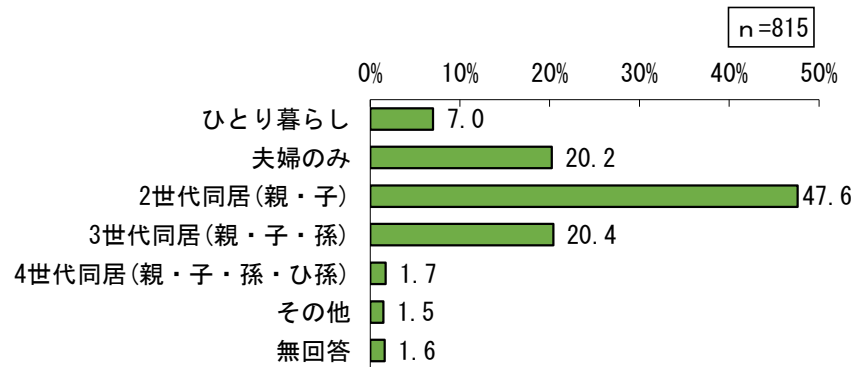


(5) 家族構成

問1(5) あなたの家族構成についてあてはまるものをお選びください。(1つに○)

- 回答者の家族構成は、「2世代同居(親・子)」が47.6%と最も多く、「3世代同居(親・子・孫)」が20.4%、「夫婦のみ」が20.2%と続きます。

図表 家族構成



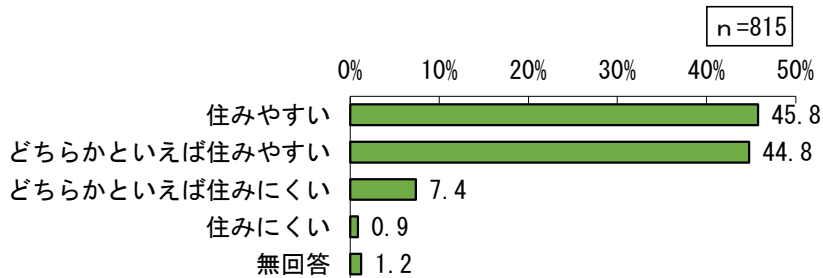
2 村への定住意向などについて

(1) 村の住みやすさについて

問2 あなたは、豊丘村を住みやすい村だと思いますか。(1つに○)

- 村の住みやすさについては、「住みやすい」が45.8%と最も多くなっています。
- 「住みやすい」(45.8%)、「どちらかといえば住みやすい」(44.8%)を合わせた90.6%の方は“住みやすい”と感じている一方、「どちらかといえば住みにくい」(7.4%)、「住みにくい」(0.9%)を合わせた8.3%の方は“住みにくい”と感じています。

図表 村の住みやすさについて

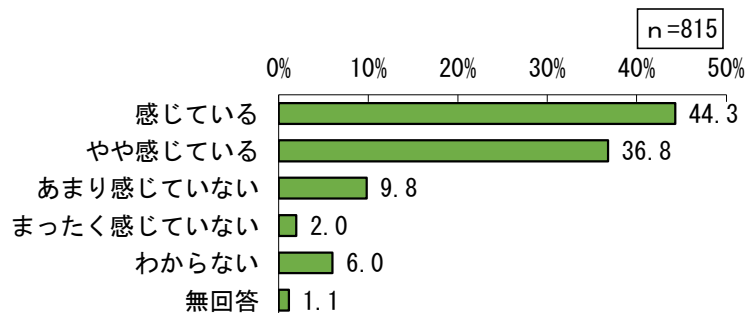


(2) 村への愛着や誇りにについて

問3 あなたは、豊丘村に愛着や誇りを感じていますか。(1つに○)

- 村への愛着や誇りについては、「感じている」が44.3%と最も多くなっています。
- 「感じている」(44.3%)、「やや感じている」(36.8%)を合わせた81.1%の方は“感じている”一方、「あまり感じていない」(9.8%)、「まったく感じていない」(2.0%)を合わせた11.8%の方は“感じていない”ことがうかがえます。

図表 村への愛着や誇りにについて

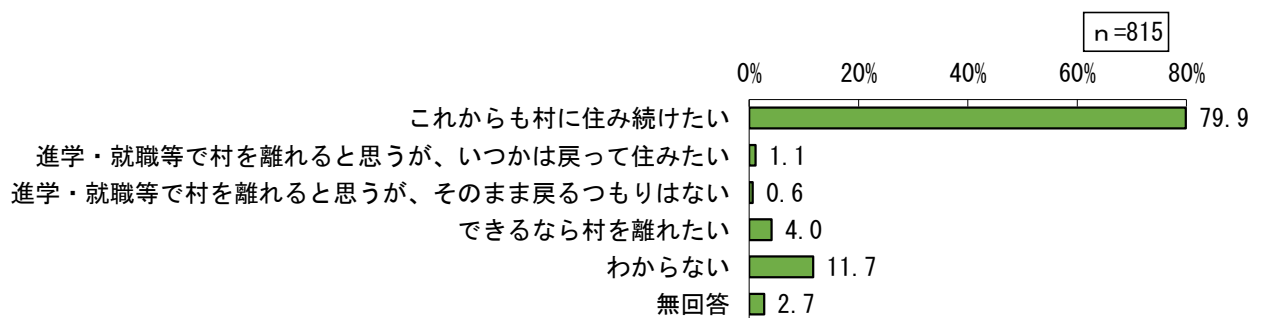


(3) 定住意向について

問4 あなたは、今後も豊丘村に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- 定住意向については、「これからも村に住み続けたい」が 79.9%と最も多くなっています。
- 「これからも村に住み続けたい」(79.9%)、「進学・就職等で村を離れると思うが、いつかは戻って住みたい」(1.1%)を合わせた 81.0%の方は“住みたい”一方、「進学・就職等で村を離れると思うが、そのまま戻るつもりはない」(0.6%)、「できるなら村を離れたい」(4.0%)を合わせた 4.6%の方は“離れたい”ことがうかがえます。

図表 定住意向について

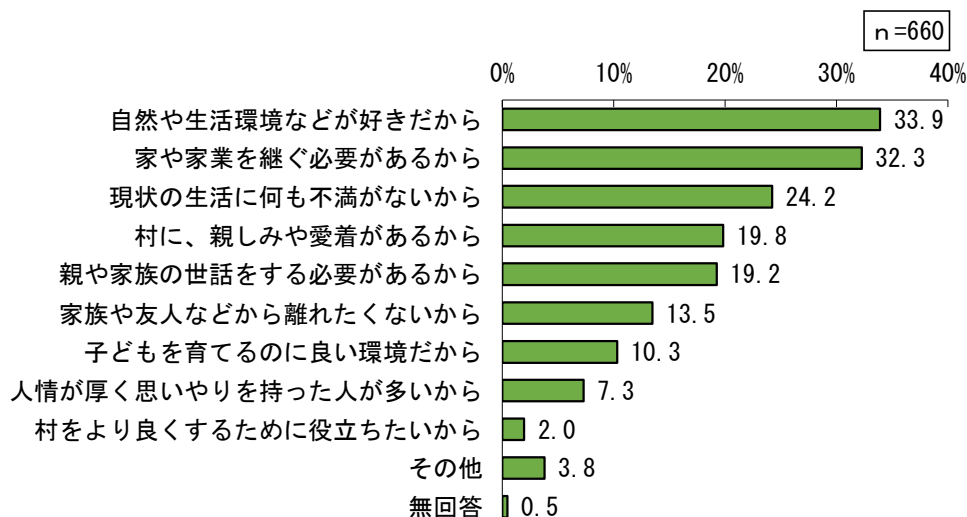


(4) 村に住み続けたい主な理由について

問4-1 問4で「1.これからも村に住み続けたい」あるいは「2.進学・就職等で村を離れると思うが、いつかは戻って住みたい」を選んだ方にお聞きします。豊丘村に住み続けたい主な理由は何ですか。(2つまでに○)

- 村に住み続けたい主な理由については、「自然や生活環境などが好きだから」が 33.9%と最も多く、「家や家業を継ぐ必要があるから」が 32.3%、「現在の生活に何も不満がないから」が 24.2%と続きます。

図表 村に住み続けたい主な理由について

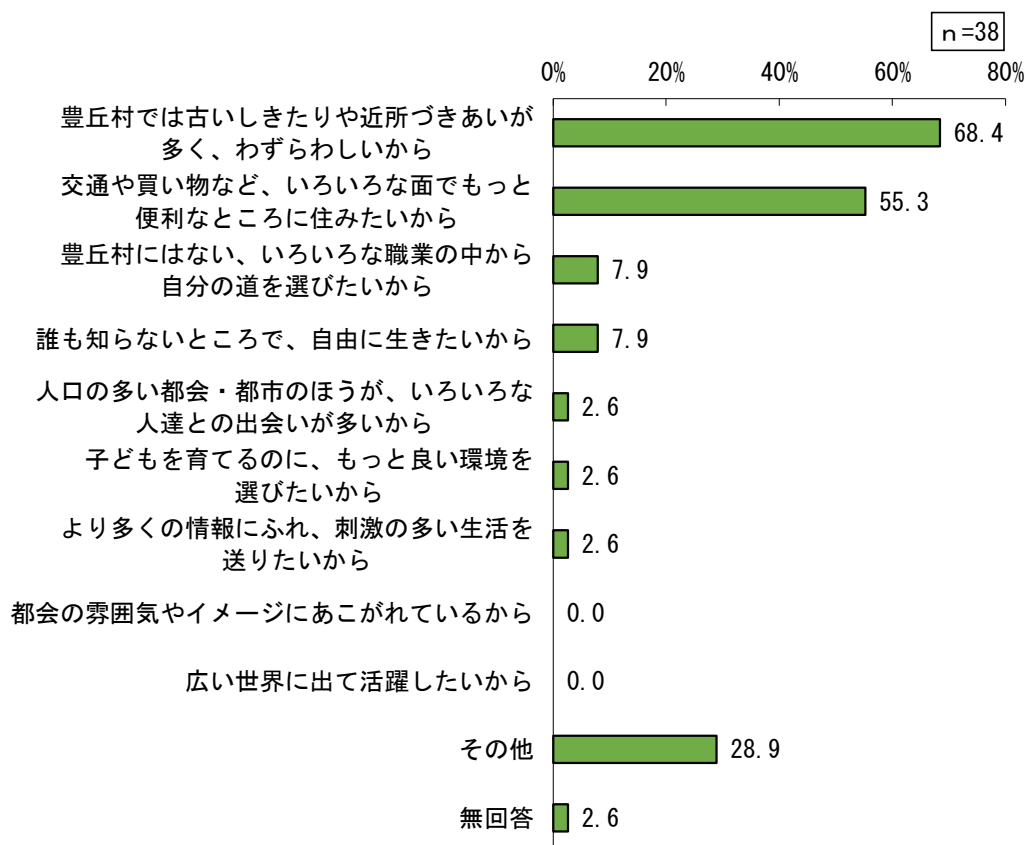


(5) 村から離れたい主な理由について

問4-2 問4で「3. 進学・就職等で村を離れると思うが、そのまま戻るつもりはない」あるいは「4. できるなら村を離れたい」を選んだ方にお聞きします。
豊丘村から離れたい主な理由は何ですか。(2つまでに○)

- 村から離れたい主な理由については、「豊丘村では古いしきたりや近所づきあいが多く、わずらわしいから」が 68.4%と最も多く、「交通や買い物など、いろいろな面でもっと便利なところに住みたいから」が 55.3%、「豊丘村にはない、いろいろな職業の中から自分の道を選びたいから」、「誰も知らないところで、自由に生きたいから」がともに 7.9%と続きます。

図表 村から離れたい主な理由について



3 村の現状と今後の取り組みについて

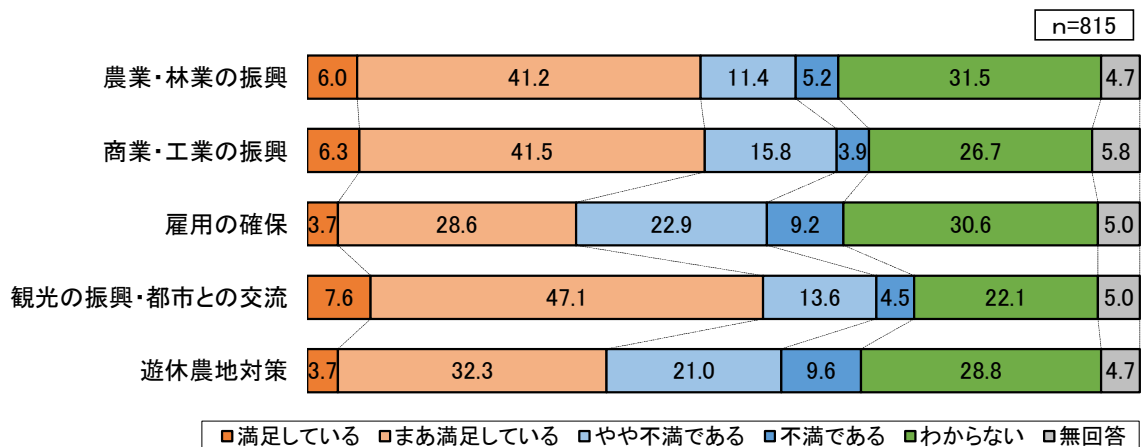
(1) 満足度・重要度について

問5 第5次豊丘村総合振興計画では、将来像「ずっとふるさと もっととよおか」の実現に向け、5つの基本方針のもと、34の主要施策を掲げ、むらづくりを推進しています。各施策の満足度と重要度について、それぞれ1つ選んで○印をつけてください。

1. 豊丘スタイルの戦略的創造

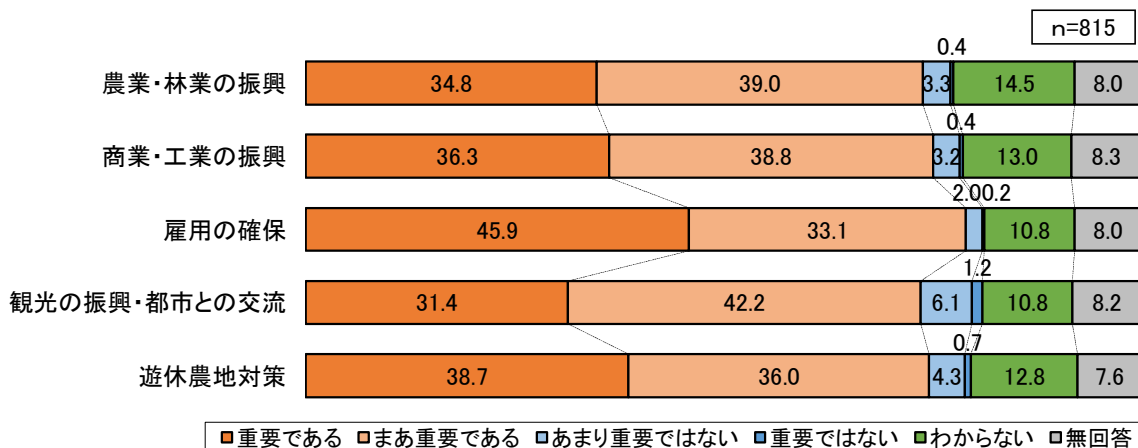
- 豊丘スタイルの戦略的創造に対する「満足している」、「まあ満足している」を合わせた割合をみると、「観光の振興・都市との交流」(54.7%)、「商業・工業の振興」(47.8%)、「農業・林業の振興」(47.2%)が上位にあります。
- 豊丘スタイルの戦略的創造に対する「やや不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「雇用の確保」(32.1%)、「遊休農地対策」(30.6%)、「商業・工業の振興」(19.7%)が上位にあります。

図表 豊丘スタイルの戦略的創造（満足度）



- 豊丘スタイルの戦略的創造に対する「重要である」、「まあ重要である」を合わせた割合をみると、「雇用の確保」(79.0%)、「商業・工業の振興」(75.1%)、「遊休農地対策」(74.7%)が上位にあります。
- 豊丘スタイルの戦略的創造に対する「あまり重要ではない」、「重要ではない」を合わせた割合をみると、「観光の振興・都市との交流」(7.3%)、「遊休農地対策」(5.0%)、「農業・林業の振興」(3.7%)が上位にあります。

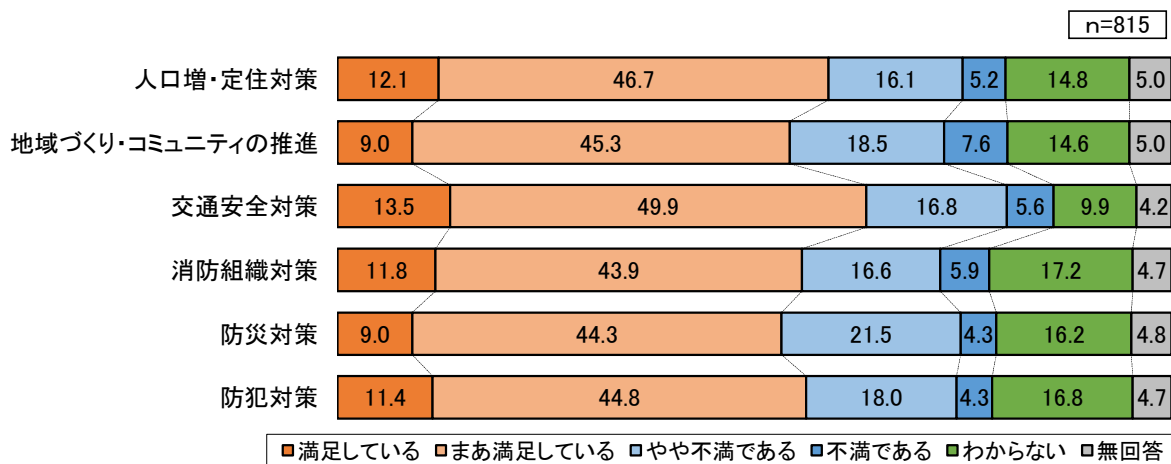
図表 豊丘スタイルの戦略的創造（重要度）



2. 地域の力で育み支える ふれあいのむら

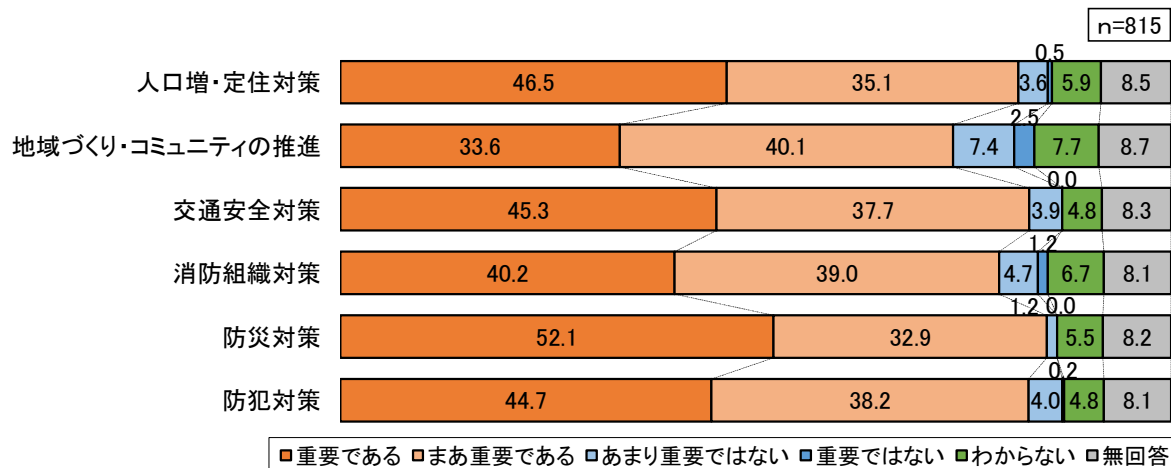
- 地域の力で育み支える ふれあいのむらに対する「満足している」、「まあ満足している」を合わせた割合をみると、「交通安全対策」(63.4%)、「人口増・定住対策」(58.8%)、「防犯対策」(56.2%)が上位にあります。
- 地域の力で育み支える ふれあいのむらに対する「やや不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「地域づくり・コミュニティの推進」(26.1%)、「防災対策」(25.8%)、「消防組織対策」(22.5%)が上位にあります。

図表 地域の力で育み支える ふれあいのむら (満足度)



- 地域の力で育み支える ふれあいのむらに対する「重要である」、「まあ重要である」を合わせた割合をみると、「防災対策」(85.0%)、「交通安全対策」(83.0%)、「防犯対策」(82.9%)が上位にあります。
- 地域の力で育み支える ふれあいのむらに対する「あまり重要ではない」、「重要ではない」を合わせた割合をみると、「地域づくり・コミュニティの推進」(9.9%)、「消防組織対策」(5.9%)、「防犯対策」(4.2%)が上位にあります。

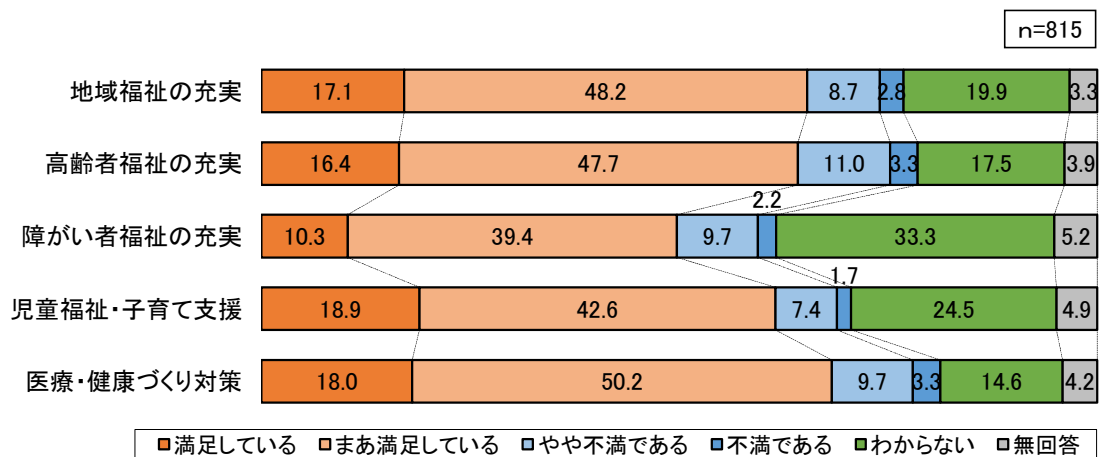
図表 地域の力で育み支える ふれあいのむら (重要度)



3. 誰もが安心して健やかに暮らせる体制づくり

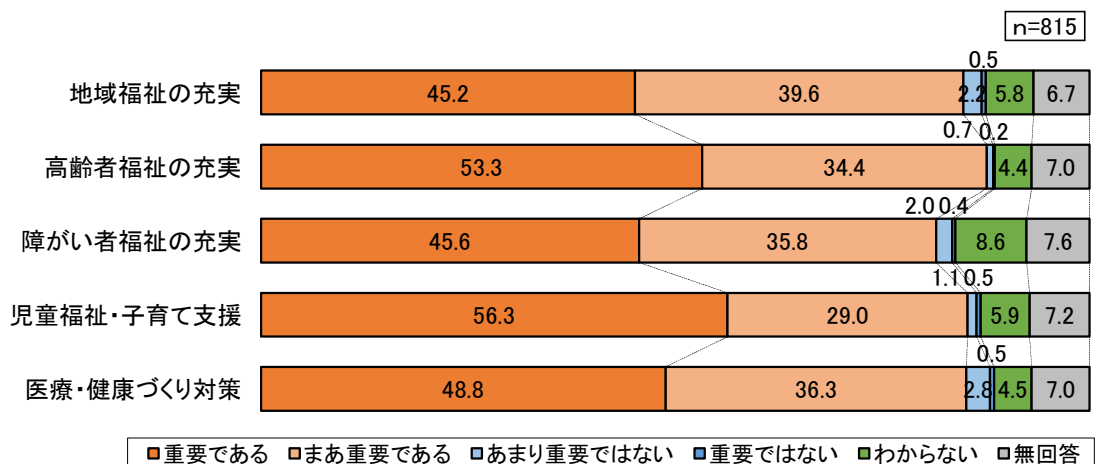
- 誰もが安心して健やかに暮らせる体制づくりに対する「満足している」、「まあ満足している」を合わせた割合をみると、「医療・健康づくり対策」(68.2%)、「地域福祉の充実」(65.3%)、「高齢者福祉の充実」(64.1%)が上位にあります。
- 誰もが安心して健やかに暮らせる体制づくりに対する「やや不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「高齢者福祉の充実」(14.3%)、「医療・健康づくり対策」(13.0%)、「障がい者福祉の充実」(11.9%)が上位にあります。

図表 誰もが安心して健やかに暮らせる体制づくり（満足度）



- 誰もが安心して健やかに暮らせる体制づくりに対する「重要である」、「まあ重要である」を合わせた割合をみると、「高齢者福祉の充実」(87.7%)、「児童福祉・子育て支援」(85.3%)、「医療・健康づくり対策」(85.1%)が上位にあります。
- 誰もが安心して健やかに暮らせる体制づくりに対する「あまり重要ではない」、「重要ではない」を合わせた割合をみると、「医療・健康づくり対策」(3.3%)、「地域福祉の充実」(2.7%)、「障がい者福祉の充実」(2.4%)が上位にあります。

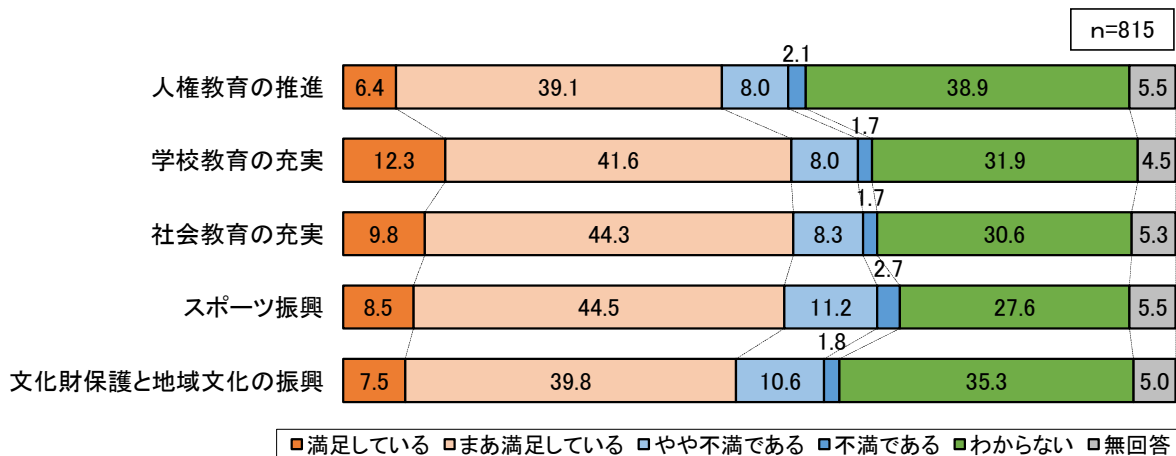
図表 誰もが安心して健やかに暮らせる体制づくり（重要度）



4. 故郷（ふるさと）を愛し輝く未来を拓く心豊かな人づくり

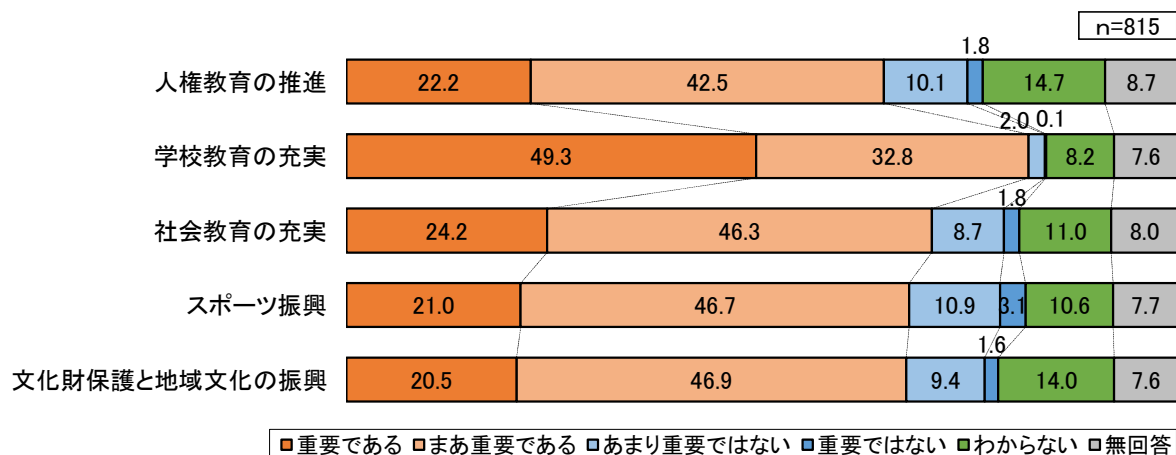
- 故郷（ふるさと）を愛し輝く未来を拓く心豊かな人づくりに対する「満足している」、「まあ満足している」を合わせた割合をみると、「社会教育の充実」（54.1%）、「学校教育の充実」（53.9%）、「スポーツ振興」（53.0%）が上位にあります。
- 故郷（ふるさと）を愛し輝く未来を拓く心豊かな人づくりに対する「やや不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「スポーツ振興」（13.9%）、「文化財保護と地域文化の振興」（12.4%）、「人権教育の推進」（10.1%）が上位にあります。

図表 故郷（ふるさと）を愛し輝く未来を拓く心豊かな人づくり（満足度）



- 故郷（ふるさと）を愛し輝く未来を拓く心豊かな人づくりに対する「重要である」、「まあ重要である」を合わせた割合をみると、「学校教育の充実」（82.1%）、「社会教育の充実」（70.5%）、「スポーツ振興」（67.7%）が上位にあります。
- 故郷（ふるさと）を愛し輝く未来を拓く心豊かな人づくりに対する「あまり重要ではない」、「重要ではない」を合わせた割合をみると、「スポーツ振興」（14.0%）、「人権教育の推進」（11.9%）、「文化財保護と地域文化の振興」（11.0%）が上位にあります。

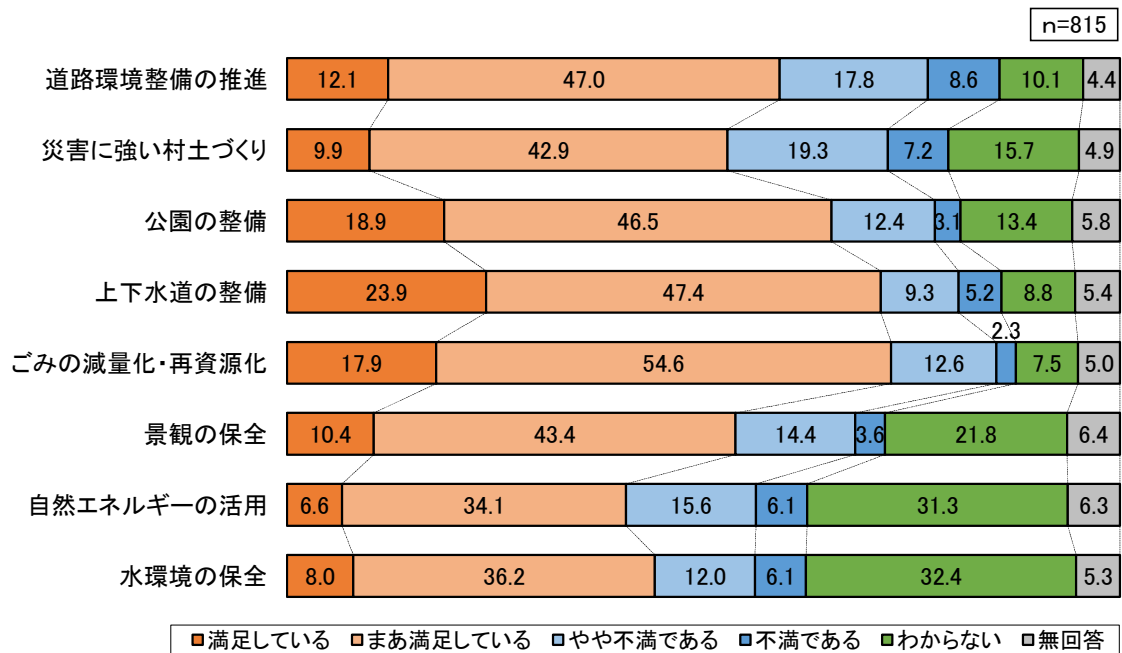
図表 故郷（ふるさと）を愛し輝く未来を拓く心豊かな人づくり（重要度）



5. 豊丘の原風景とやすらぎあふれる住環境の創出

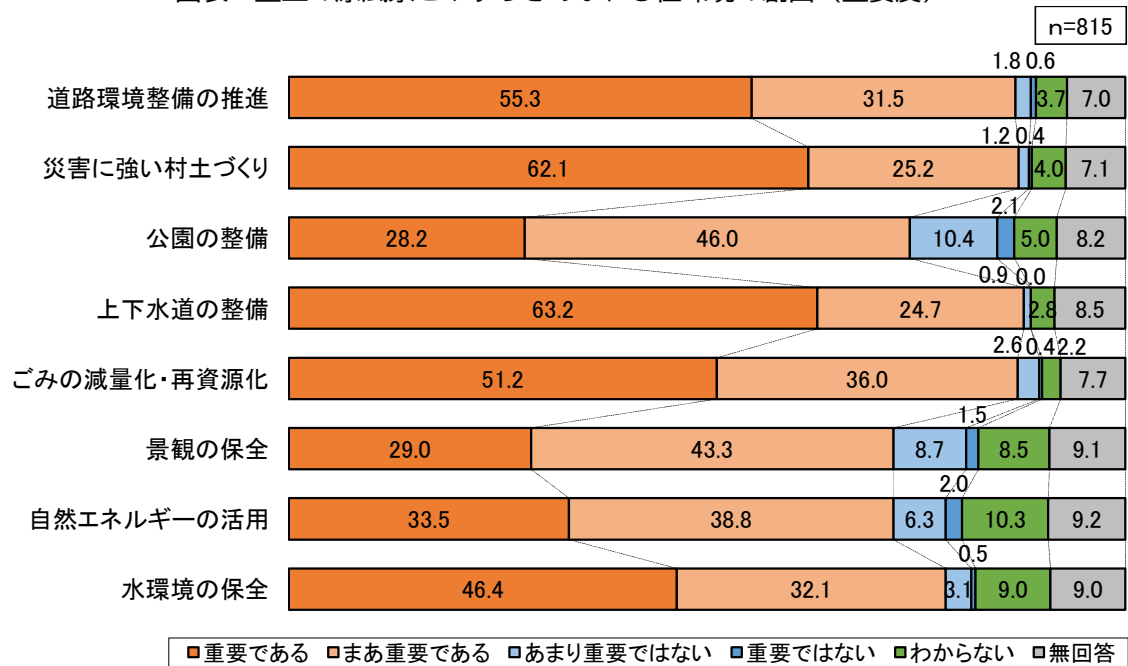
- 豊丘の原風景とやすらぎあふれる住環境の創出に対する「満足している」、「まあ満足している」を合わせた割合をみると、「ごみの減量化・再資源化」(72.5%)、「上下水道の整備」(71.3%)、「公園の整備」(65.4%)が上位にあります。
- 豊丘の原風景とやすらぎあふれる住環境の創出に対する「やや不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「災害に強い村土づくり」(26.5%)、「道路環境整備の推進」(26.4%)、「自然エネルギーの活用」(21.7%)が上位にあります。

図表 豊丘の原風景とやすらぎあふれる住環境の創出（満足度）



- 豊丘の原風景とやすらぎあふれる住環境の創出に対する「重要である」、「まあ重要である」を合わせた割合をみると、「上下水道の整備」(87.9%)、「災害に強い村づくり」(87.3%)、「ごみの減量化・再資源化」(87.2%)が上位にあります。
- 豊丘の原風景とやすらぎあふれる住環境の創出に対する「あまり重要ではない」、「重要ではない」を合わせた割合をみると、「公園の整備」(12.5%)、「景観の保全」(10.2%)、「自然エネルギーの活用」(8.3%)が上位にあります。

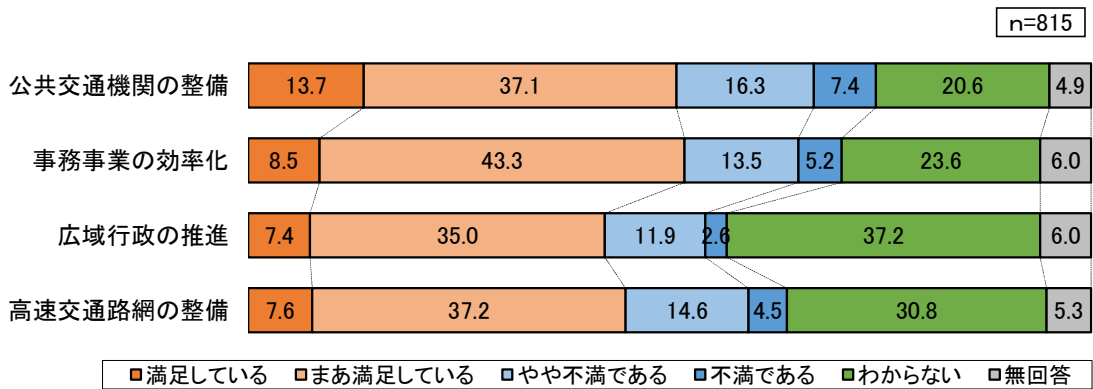
図表 豊丘の原風景とやすらぎあふれる住環境の創出（重要度）



6. 住民の活動を支える行政運営

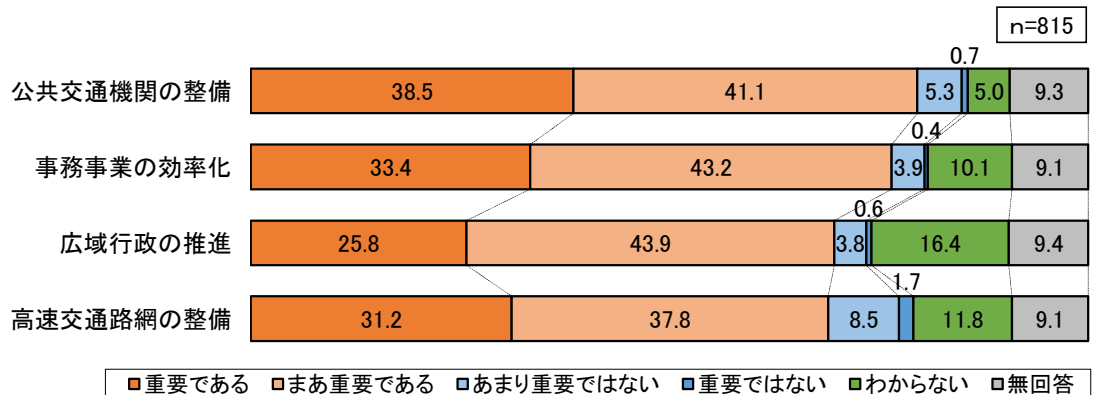
- 住民の活動を支える行政運営に対する「満足している」、「まあ満足している」を合わせた割合をみると、「事務事業の効率化」(51.8%)、「公共交通機関の整備」(50.8%)、「高速交通路網の整備」(44.8%)が上位にあります。
- 住民の活動を支える行政運営に対する「やや不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「公共交通機関の整備」(23.7%)、「高速交通路網の整備」(19.1%)、「事務事業の効率化」(18.7%)が上位にあります。

図表 住民の活動を支える行政運営（満足度）



- 住民の活動を支える行政運営に対する「重要である」、「まあ重要である」を合わせた割合をみると、「公共交通機関の整備」(79.6%)、「事務事業の効率化」(76.6%)、「広域行政の推進」(69.7%)が上位にあります。
- 住民の活動を支える行政運営に対する「あまり重要ではない」、「重要ではない」を合わせた割合をみると、「高速交通路網の整備」(10.2%)、「公共交通機関の整備」(6.0%)、「広域行政の推進」(4.4%)が上位にあります。

図表 住民の活動を支える行政運営（重要度）



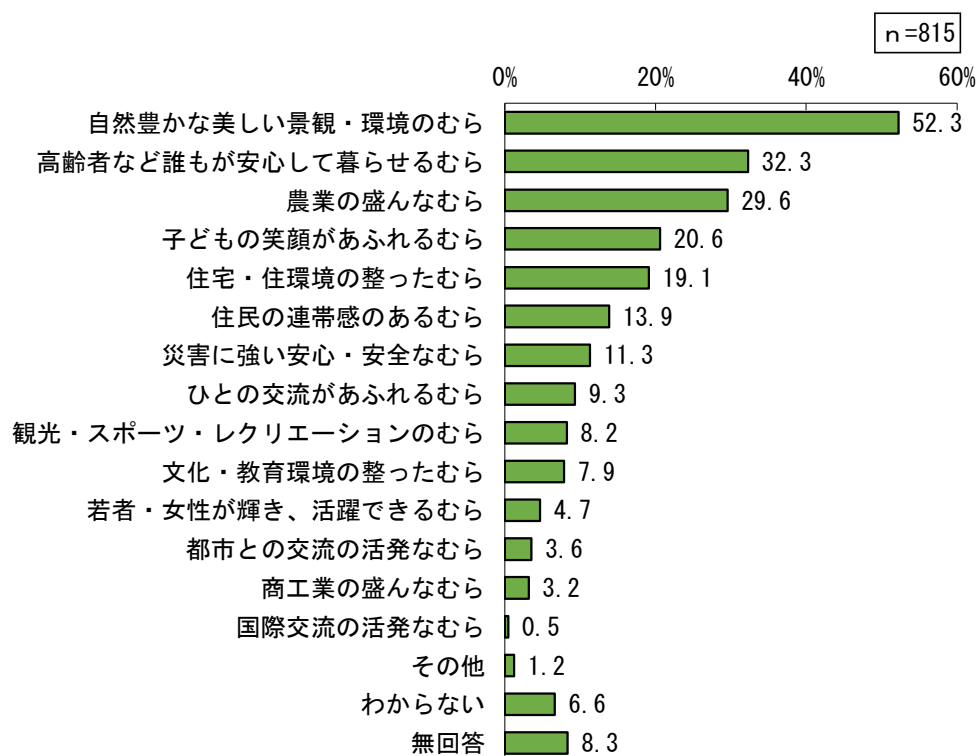
(2) 村の現在と将来のイメージについて

問6 あなたが持つ現在の豊丘村のイメージはどのようなものですか。また、あなたが望む将来の豊丘村にふさわしいイメージはどのようなものですか。
(現在と将来、それぞれ3つまでに○)

◎現在の豊丘村のイメージ

- 村の現在のイメージについては、「自然豊かな美しい景観・環境のむら」が 52.3%と最も多く、「高齢者など誰もが安心して暮らせるむら」が 32.3%、「農業の盛んなむら」が 29.6%と続きます。

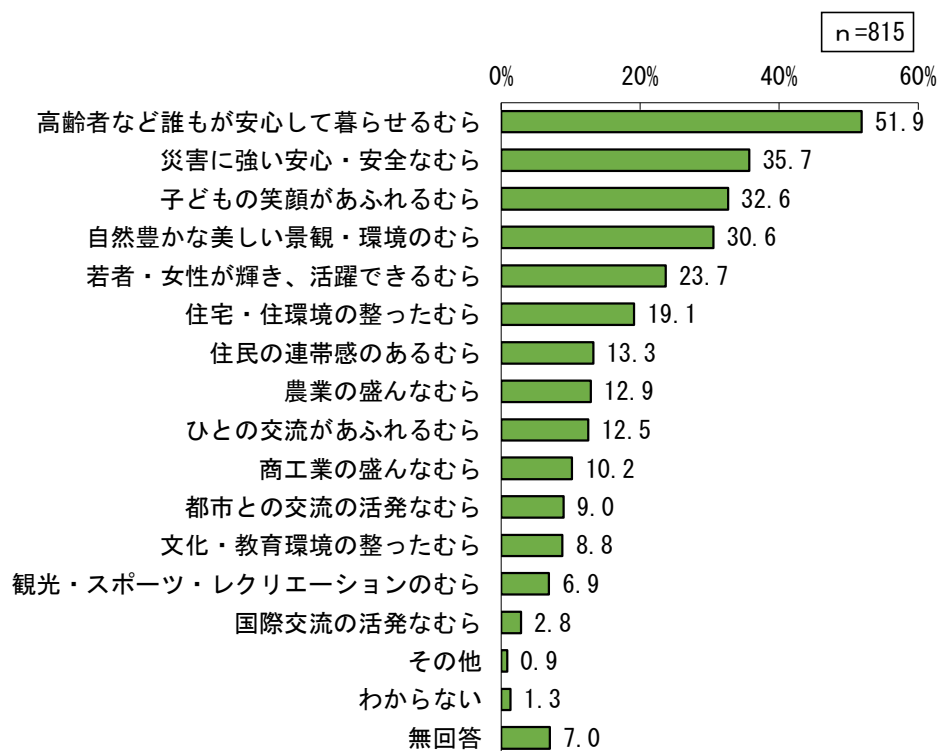
図表 現在の豊丘村のイメージについて



◎将来の豊丘村のイメージ

- 村の将来のイメージについては、「高齢者など誰もが安心して暮らせるむら」が 51.9%と最も多く、「災害に強い安心・安全なむら」が 35.7%、「子どもの笑顔があふれるむら」が 32.6%と続きます。

図表 将来の豊丘村のイメージについて

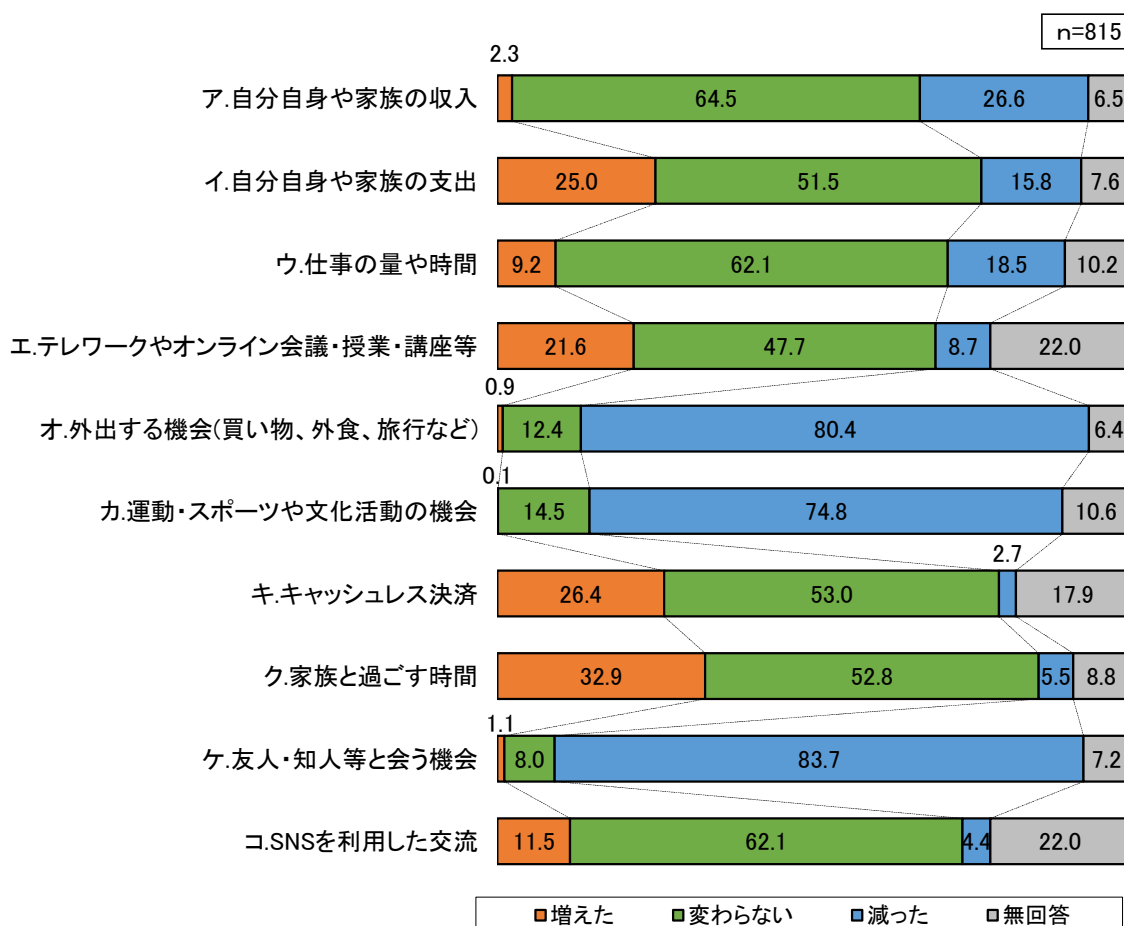


(3) コロナ禍前後の生活状況等について

問8 コロナ禍の前後における、あなたの生活状況等についてお答えください。
(ア～コのそれぞれ1つに○)

- コロナ禍前後の生活状況等について「増えた」の割合をみると、「ク. 家族と過ごす時間」(32.9%)、「キ. キャッシュレス決済」(26.4%)、「イ. 自分自身や家族の支出」(25.0%)が上位にあります。
- コロナ禍前後の生活状況等について「減った」の割合をみると、「ケ. 友人・知人等と会う機会」(83.7%)、「オ. 外出する機会(買い物、外食、旅行など)」(80.4%)、「カ. 運動・スポーツや文化活動の機会」(74.8%)が上位にあります。
- コロナ禍前後の生活状況等について「変わらない」の割合をみると、「ア. 自分自身や家族の収入」(64.5%)、「ウ. 仕事の量や時間」(62.1%)、「コ. SNSを利用した交流」(62.1%)、「キ. キャッシュレス決済」(53.0%)が上位にあります。

図表 コロナ禍前後の生活状況等について

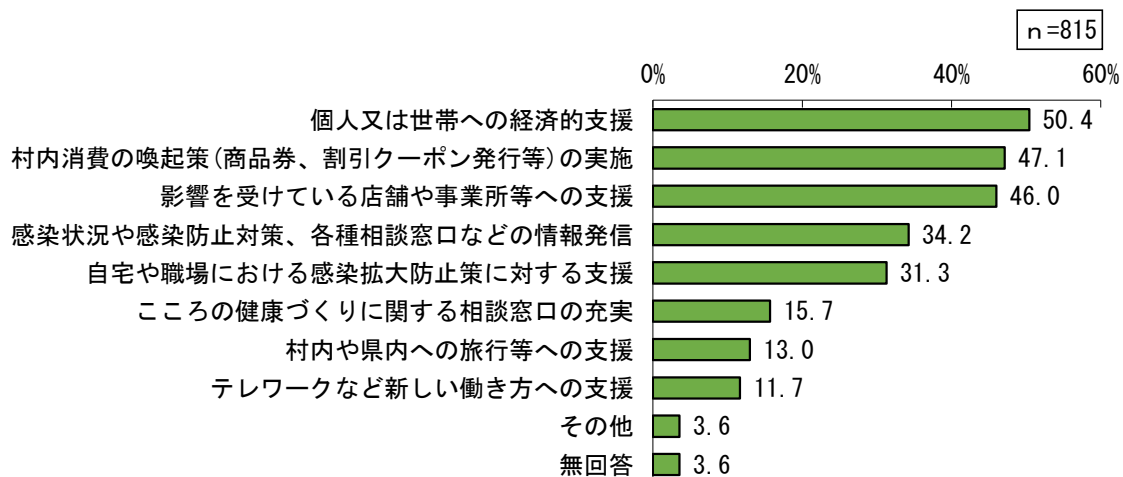


(4) コロナ禍において重要だと思う支援について

問9 問8の状況を踏まえ、どのような支援が重要だと思いますか。(主なものを3つまでに○)

- コロナ禍において重要だと思う支援については、「個人又は世帯への経済的支援」が50.4%と最も多く、「村内消費の喚起策(商品券、割引クーポン発行等)の実施」が47.1%、「影響を受けている店舗や事業所等への支援」が46.0%と続きます。

図表 コロナ禍において重要だと思う支援について



(5) コロナ臨時交付金事業の効果について

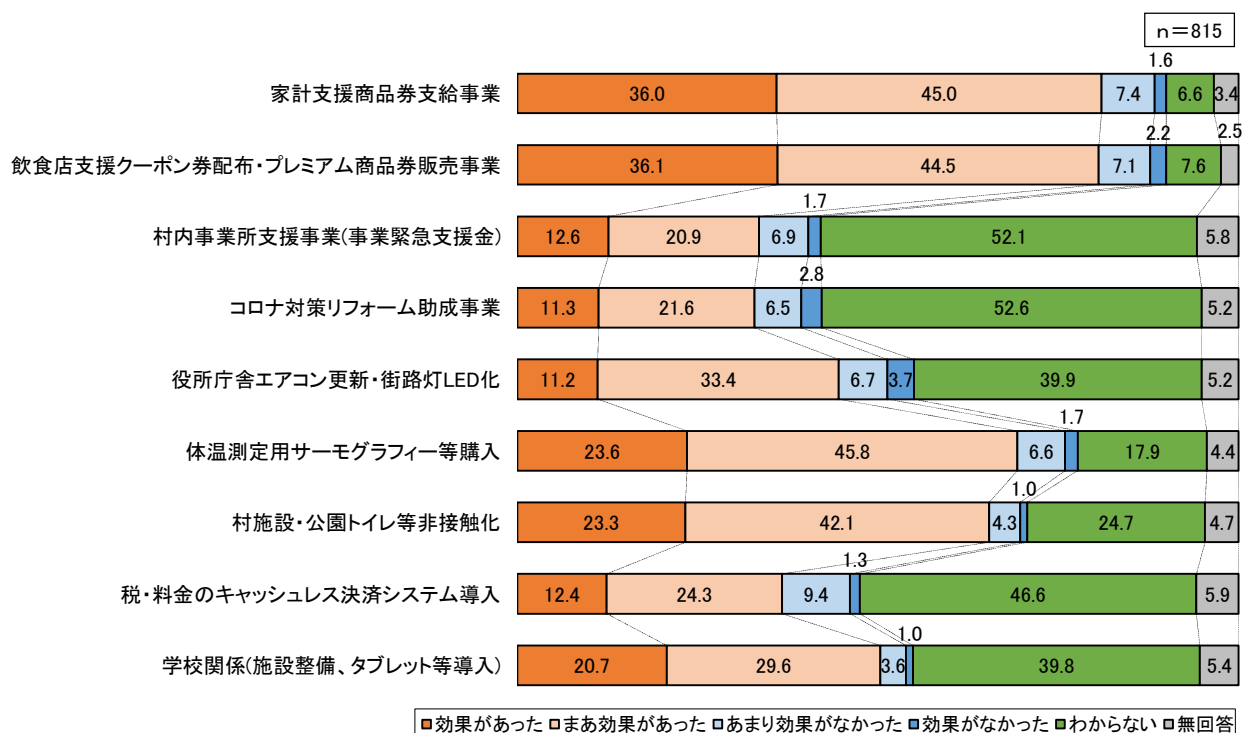
【コロナ臨時交付金事業】

新型コロナウイルス感染症対策として、令和2年度～3年度にかけて国から臨時交付金が交付され、村ではこれを活用してさまざまな事業を実施しています。

問10 コロナ臨時交付金事業の効果について、あなたのお考えを項目ごとに1つ選んで○印をつけてください。

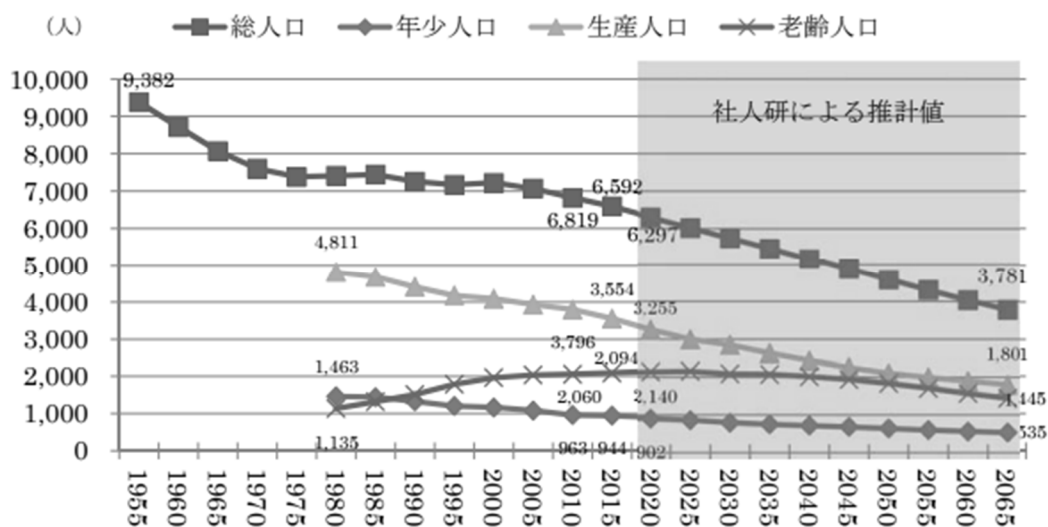
- コロナ臨時交付金事業の効果について「効果があった」の割合をみると、「飲食店支援クーポン券配布・プレミアム商品券販売事業」(36.1%)、「家計支援商品券支給事業」(36.0%)、「体温測定用サーモグラフィー等購入」(23.6%)が上位にあります。
- コロナ臨時交付金事業の効果について「まあ効果があった」の割合をみると、「体温測定用サーモグラフィー等購入」(45.8%)、「家計支援商品券支給事業」(45.0%)、「飲食店支援クーポン券配布・プレミアム商品券販売事業」(44.5%)が上位にあります。
- コロナ臨時交付金事業の効果について「あまり効果がなかった」の割合をみると、「税・料金のキャッシュレス決済システム導入」(9.4%)、「家計支援商品券支給事業」(7.4%)、「飲食店支援クーポン券配布・プレミアム商品券販売事業」(7.1%)が上位にあります。
- コロナ臨時交付金事業の効果について「効果がなかった」の割合をみると、「役所庁舎エアコン更新・街路灯LED化」(3.7%)、「コロナ対策リフォーム助成事業」(2.8%)、「飲食店支援クーポン券配布・プレミアム商品券販売事業」(2.2%)が上位にあります。

図表 コロナ臨時交付金事業の効果について



(6) 人口減少や少子高齢化による村の将来への影響について

国立社会保障・人口問題研究所によると、豊丘村の人口は、2065年には現在の人口の約6割(3,781人)まで減少すると予測されています。

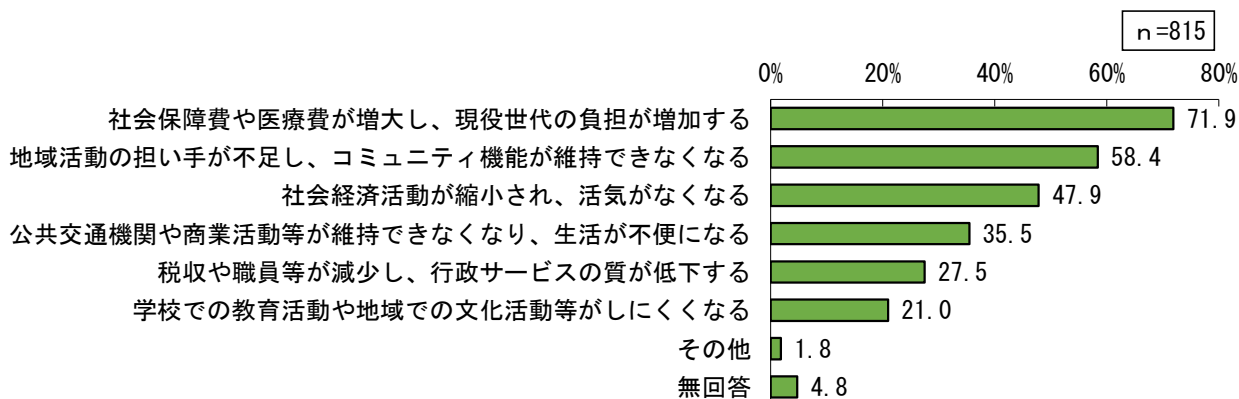


(※「第6次豊丘村総合振興計画策定にかかる住民意識調査 調査票」P.10より)

問11 上記のように人口減少や少子高齢化が進んだ場合、豊丘村の将来にどのような影響があると思いますか。(特に影響が大きいと思うもの3つまでに○)

- 人口減少や少子高齢化による村の将来への影響については、「社会保障費や医療費が増大し、現役世代の負担が増加する」が71.9%と最も多く、「地域活動の担い手が不足し、コミュニティ機能が維持できなくなる」が58.4%、「社会経済活動が縮小され、活気がなくなる」が47.9%と続きます。

図表 人口減少や少子高齢化による村の将来への影響について

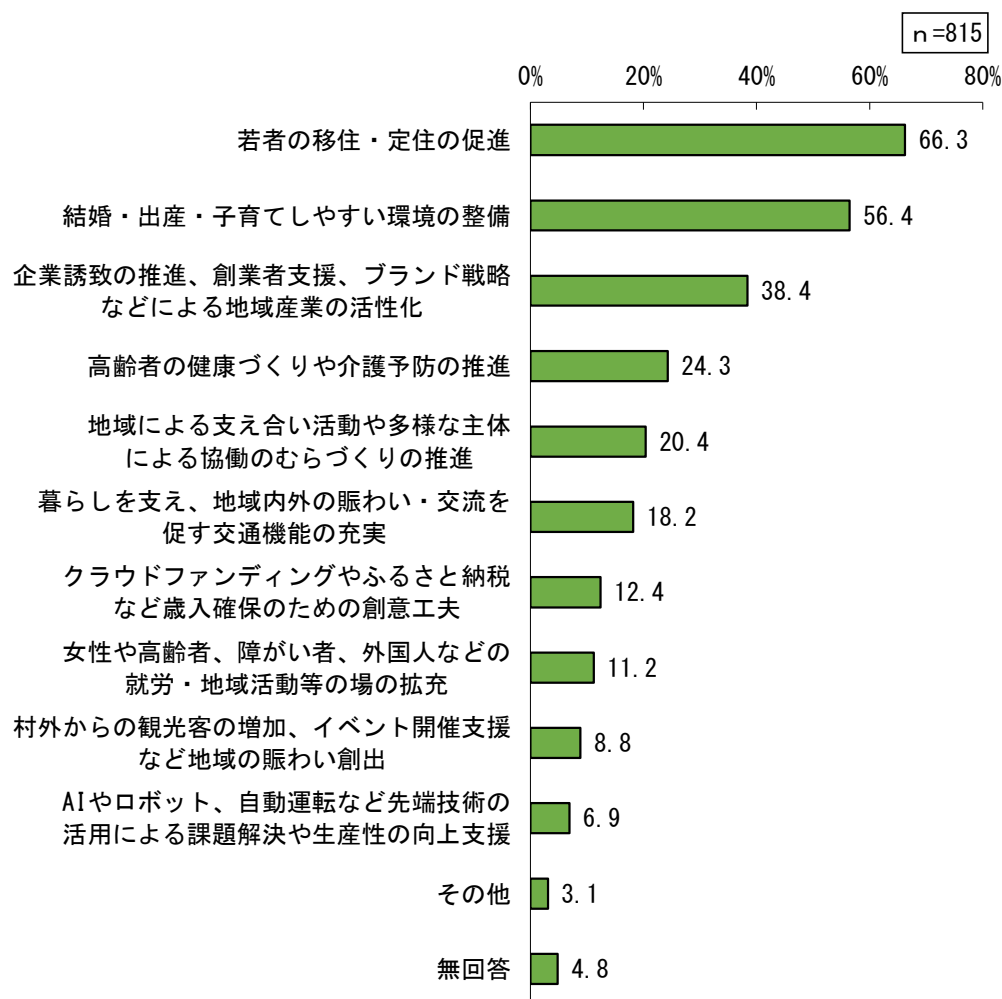


(7) 今後、力を入れるべき取り組みについて

問12 問11のような影響を踏まえ、今後、村はどのような取り組みに力を入れるべきであると思いますか。(特に重要だと思ふもの3つまでに○)

- 今後、力を入れるべき取り組みについては、「若者の移住・定住の促進」が 66.3%と最も多く、「結婚・出産・子育てしやすい環境の整備」が 56.4%、「企業誘致の推進、創業者支援、ブランド戦略などによる地域産業の活性化」が 38.4%と続きます。

図表 今後、力を入れるべき取り組みについて



4 「SDGs（持続可能な開発目標）」について

(1) 「SDGs（持続可能な開発目標）」の認知度について

【SDGs（エス・ディー・ジー・ズ）とは】

2015年9月の国連サミットにおいて「地球上の誰一人として取り残さない」ことを目指し、先進国と途上国が一丸となって2030年までに達成すべき国際社会共通の目標が定められました。その目標はSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）と呼ばれ、「17の目標」と「169のターゲット（具体目標）」で構成されています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、わが国においても、政府はじめ全国の地方自治体、民間企業等で積極的に取り組まれています。

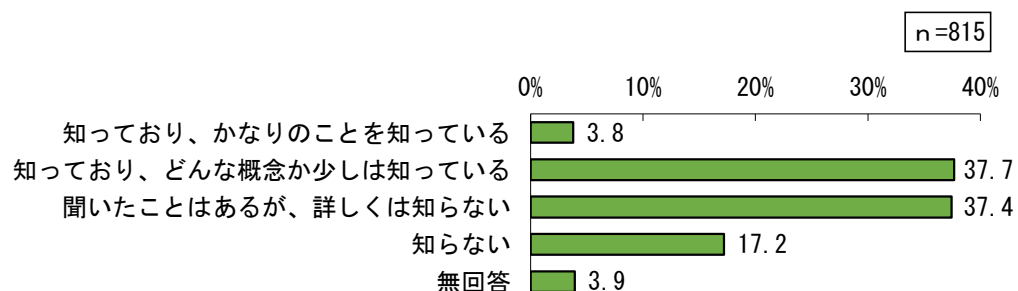


(※「第6次豊丘村総合振興計画策定にかかる住民意識調査 調査票」P.11より)

問13 「SDGs」をご存じですか。(1つに○)

- 「SDGs（持続可能な開発目標）」の認知度については、「知っており、どんな概念か少しは知っている」37.7%が%と最も多くなっています。
- 「知っており、かなりのことを知っている」（3.8%）、「知っており、どんな概念か少しは知っている」（37.7%）を合わせた41.5%の方は“知っている”一方、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」（37.4%）、「知らない」（17.2%）を合わせた54.6%の方は“知らない”ことがうかがえます。

図表 「SDGs（持続可能な開発目標）」の認知度について

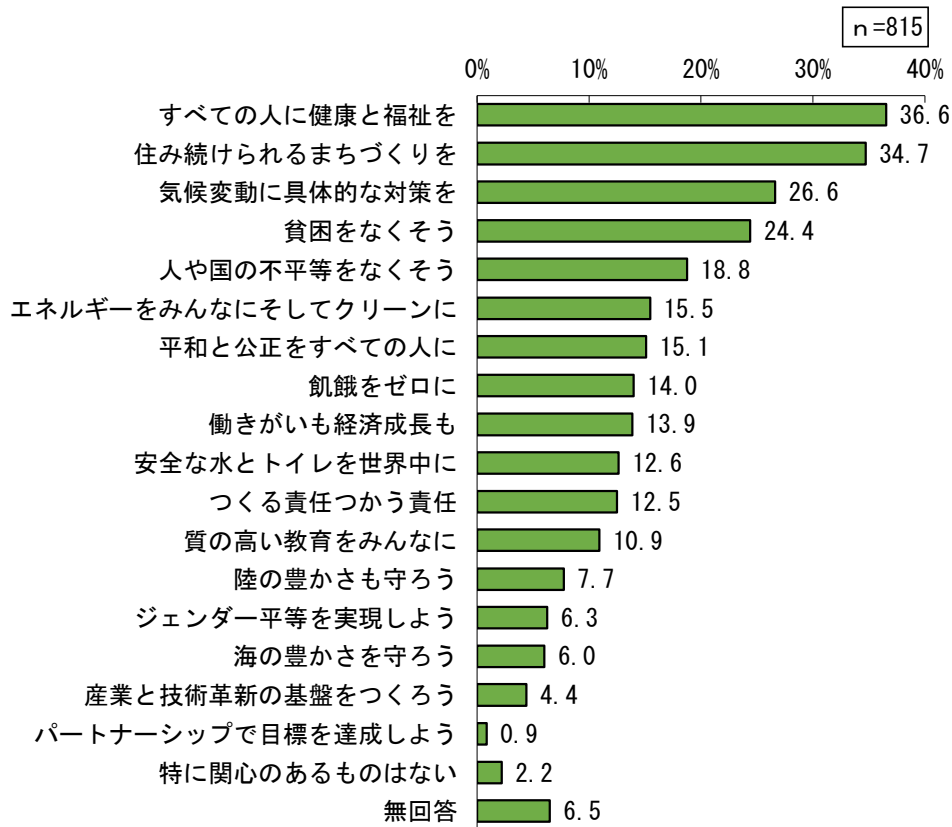


(2) 「SDGs」の17の目標のうち、関心のあるものについて

問 14 「SDGs」には17の目標があります。このうち、あなたが関心のあるものをお答えください。(3つまでに○)

- 「SDGs」の17の目標のうち、関心のあるものについては、「すべての人に健康と福祉を」が36.6%と最も多く、「住み続けられるまちづくりを」が34.7%、「気候変動に具体的な対策を」が26.6%と続きます。
- 「特に関心のあるものはない」と回答された方は2.2%となっています。

図表 「SDGs」の17の目標のうち、関心のあるものについて

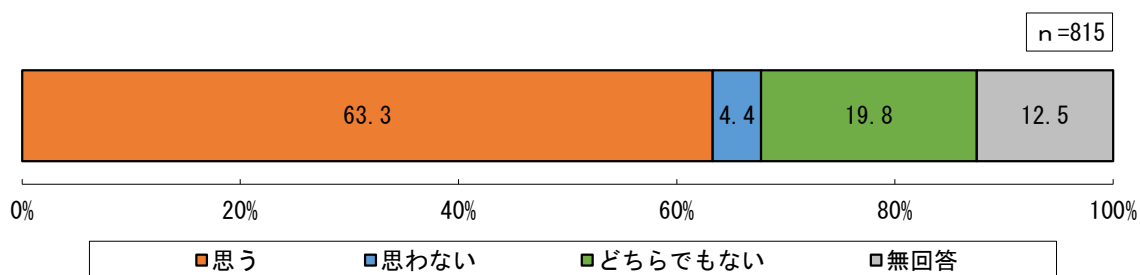


(3) 今後のむらづくりに「SDGs」の考え方を活かすべきかについて

問15 豊丘村の今後のむらづくりに、この「SDGs」の考え方を活かしていくべきだと思いますか。また、そう思う・思わない理由をご記入ください。(1つに○)

- 今後のむらづくりに「SDGs」の考え方を活かすべきかについては、「思う」が 63.3%と最も多く、「どちらでもない」が 19.8%、「思わない」が 4.4%と続きます。

図表 今後のむらづくりに「SDGs」の考え方を活かすべきかについて

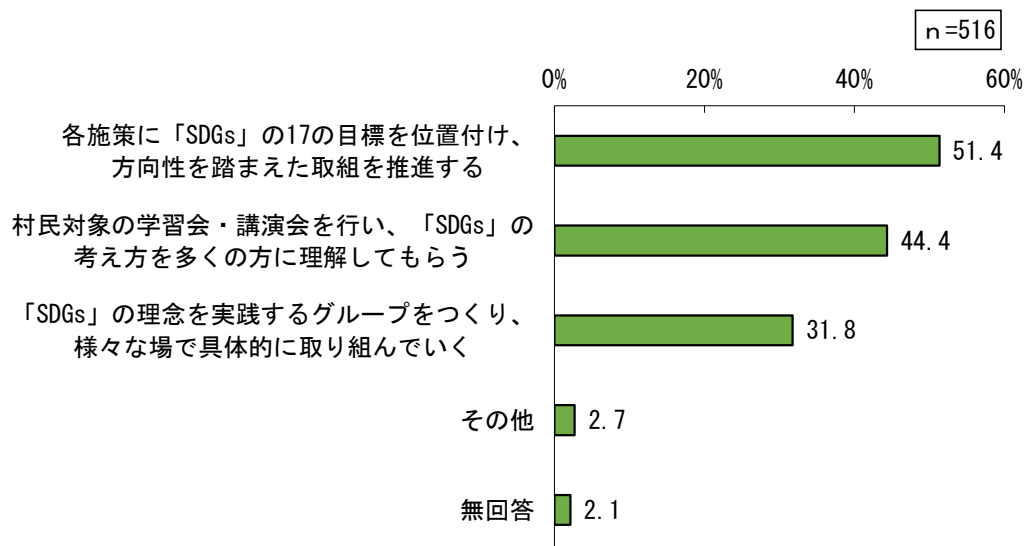


(4) 「SDGs」の考え方を村の施策にどう反映させるかについて

問15-1 問15で「1. 思う」を選んだ方にお聞きします。この「SDGs」の考え方を、村の施策に具体的にどうやって反映させていったらよいと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- 「SDGs」の考え方を村の施策にどう反映させるかについては、「各施策に「SDGs」の17の目標を位置付け、方向性を踏まえた取組を推進する」が 51.4%と最も多く、「村民対象の学習会・講演会を行い、「SDGs」の考え方を多くの方に理解してもらう」が 44.4%、「「SDGs」の理念を実践するグループをつくり、様々な場で具体的に取組んでいく」が 31.8%と続きます。

図表 「SDGs」の考え方を村の施策にどう反映させるかについて



5 リニア開業について

(1) リニア開業に備え、新たな村づくりに取り組む必要性について

【リニア開業D I】

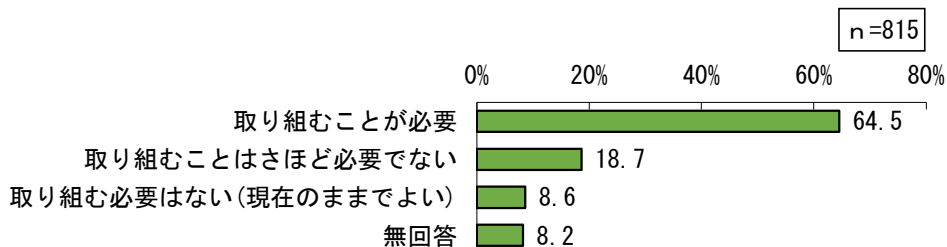
東京と名古屋を結ぶリニア中央新幹線の建設工事が始まっており、遅れる可能性は高いものの、2027年に開業が予定されています。また、豊丘村中心部から車で15分以内の飯田市上郷地区に（仮称）長野県駅が開設され、長野県駅から品川駅まで45分程度、名古屋駅25分程度で結ばれます。

（※「第6次豊丘村総合振興計画策定にかかる住民意識調査 調査票」P.13より）

問16 リニア開業に備え、今から新たな村づくりに取り組む必要があると思いますか。
（1つに○）

- リニア開業に備え、新たな村づくりに取り組む必要性については、「取り組むことが必要」が64.5%と最も多く、「取り組むことはさほど必要でない」が18.7%、「取り組む必要はない（現在のままでよい）」が8.6%と続きます。

図表 リニア開業に備え、新たな村づくりに取り組む必要性について

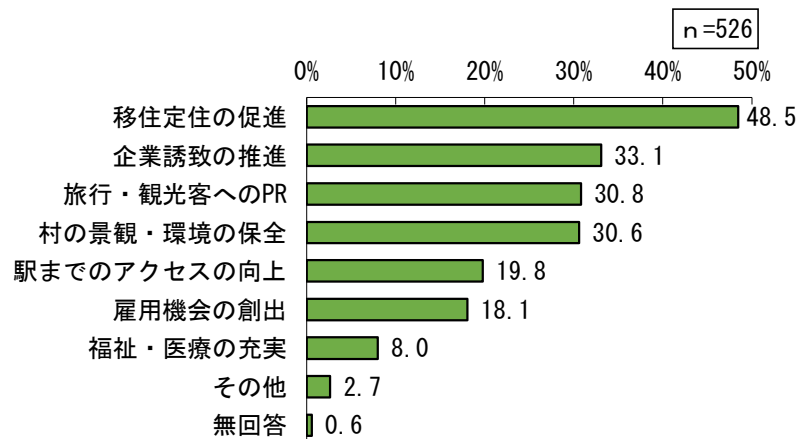


(2) リニア開業に備えた新たな村づくりに必要な取組について

問16-1 問16で「1. 取り組むことが必要」を選んだ方にお聞きします。特にどのような取組をする必要があると思いますか。(2つまでに○)

- リニア開業に備えた新たな村づくりに必要な取組については、「移住定住の促進」が48.5%と最も多く、「企業誘致の推進」が33.1%、「旅行・観光客へのPR」が30.8%と続きます。

図表 リニア開業に備えた新たな村づくりに必要な取組について

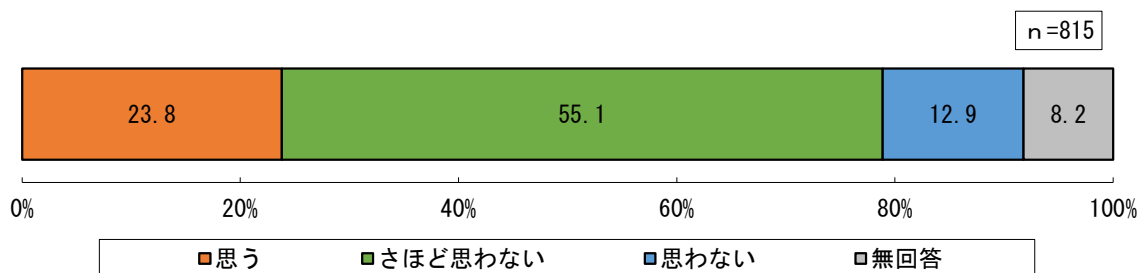


(3) リニア開業後、村民の暮らしが今よりよくなるかについて

問17 リニア開業後、村民の暮らしは今よりよくなると思いますか。(1つに○)

- リニア開業後、村民の暮らしが今よりよくなるかについては、「さほど思わない」が55.1%と最も多く、「思う」が23.8%、「思わない」が12.9%と続きます。

図表 リニア開業後、村民の暮らしが今よりよくなるかについて



(4) リニア開業後、飯田下伊那地域の経済が今よりよくなるかについて

問18 リニア開業後、飯田下伊那地域の経済は今よりよくなると思いますか。(1つに○)

- リニア開業後、飯田下伊那地域の経済が今よりよくなるかについては、「さほど思わない」が48.8%と最も多く、「思う」が34.4%、「思わない」が10.2%と続きます。

図表 リニア開業後、飯田下伊那地域の経済が今よりよくなるかについて

